

盛岡にカーリング専用施設を!!

請願項目：青少年育成、世代間交流、人材育成、オリンピック選手輩出を目的とするカーリング専用施設を盛岡市に建設すること。

請願趣旨：わたくし達のふるさと盛岡・岩手か生んだ偉人、新渡戸稲造は「願わくはわれ太平洋の橋とならん」との言葉で知られ、日本を代表する国際人ですが、日本にスケート靴を持ち帰ったのも実は彼だといわれています。近代氷上競技の日本の父といっても過言ではないでしょう。盛岡市は新渡戸稲造終焉の地、カナダ・ビクトリア市と姉妹都市提携を結んでいます。ビクトリア市では2005年4月に、カーリング世界選手権を開催するなど、カーリングが盛んに行われています。また新渡戸は「橋は決して一人では架けられない。何世代にも受け継がれてはしめて架けられる」と言っています。カーリングストーンで太平洋に新たな橋を架けたい。わたくし達はそんな夢を心に描いています。

カーリング専用施設を持たないわれわれ岩手県の代表チームが、2007-2008年シーズンより新たなカテゴリーとして誕生したミックスダブルスの日本選手権において初代王者に輝き、第1回世界選手権に出場しております。また、2010-2011シーズンおよび2011-2012シーズンとこのカテゴリーを連覇しており、「ウインターゲームス NZ」という国際大会では準優勝に輝いています。さらに2010-2011シーズンには男子シニアチームが日本シニア選手権で優勝しています。

我が国ではカーリングの専用施設は北海道、長野に集中しており、岩手県にはカーリングの専用施設はありません。そんな環境での日本選手権優勝は、施設や補助が十分とは言えない中達成した、大快挙です。

以前、ある新聞記事にこのような文章が掲載されました。「カーリング不毛の地でゼロから取り組み、10年かけて強豪に仲間入りしたご褒美に『専用リンク』は高価すぎるだろうか。行政でも民間でもいい。地域を元気にするだけでなく将来五輪出場という『夢』で恩返しがあるとすれば、先行投資も悪くないと思う」。

カーリングはその精神に「不注意にも規則や伝統を汚し、それに気づいたときは、違反を真っ先に申し出ます」という崇高な理想を掲げています。こんな時

代に、青少年育成の観点からも是非、県民のみなさんにお勧めしたい競技です。また、カーリングは小中学生の若年者から高齢者に至るまで幅広い年齢で対等に試合をすることができる生涯スポーツです。

岩手県はこれまでも、そして、これからも人材輩出県です。今後 100 年の計に立ち、将来の岩手のみならず日本を考えたとき、ふさわしい人材を育成する策の 1 つとしてカーリングをお勧めし、育む場、また地域の社交場として、県都盛岡にカーリング専用施設の建設を切望する次第です。尚、この事業を実現するために、地域の皆様だけでなく広く全国のカーリングファンの皆様方にも署名運動を推進していきたいと存じます。どうぞこの趣旨をご理解いただき、皆様の絶大なご協力を、賜りますようお願い申し上げます。

